



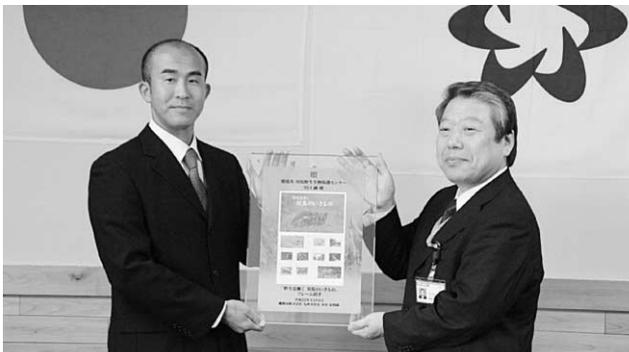
赤米の里に響くオペラ

10月18日、厳原町豆敷の多久頭魂神社で世界的オペラ歌手崔宗宝さんが美声を響かせました。崔さんは「にほんの里100選」を巡り無料コンサートを開いています。



尊い犠牲に安らかなれと

10月28日、豊玉町総合運動公園体育館で対馬市戦没者追悼式が開催されました。ご遺族や参列者は国難に殉ぜられた千四百余の英霊に黙とうを捧げ、献花を行い、恒久平和の誓いを新たにしました。



島の「仲間たち」がいきいきと

11月1日からオリジナルフレーム切手「野生息衝く 対馬のいきもの」が、対馬・壱岐両市内の郵便局で限定1,300シート販売されています。



島居 サワさん(峰町)
大正元年10月1生まれ



倉掛 正さん(厳原町)
大正元年10月26生まれ

祝 白寿 おめでとうございます

99歳を迎えられたお二人に市から褒状とお祝い金が贈られました。これからも長生きしてください。



ひまわりのように

東日本大震災復興支援ソング「ひまわり」でCDデビューした美津島町難知出身の歌手narukoさんが、10月8・9日、市内でデビューイベントを開催し、のびやかな歌声を披露しました。



「安心のよりどころ」所長交代

10月11日、対馬ひまわり基金法律事務所の井口夏貴弁護士(左)が対馬での3年間の任期を終えて退任され、後任に伊藤拓弁護士(右)が着任されました。



疾風のごとく

10月16日、上県町目保呂ダム馬事公園で対馬初午祭が開催され、対州馬レース「馬とばせ」などに大きな拍手が送られました。また、6月に誕生した対州馬の赤ちゃんの名前が「夢花(ゆめか)」ちゃんと決定、紹介されました。